

成蹊学園 広報



2010
Winter
vol. 76
SEIKEI GAKUEN

蹊

Series 成蹊教育を知る

一九三三(大正二)年二月二〇日早朝、ロシア大使館付宣教師アルガコフは外国人として初めて成蹊実務学校を訪問、すでに評判となっていた「裸体凝念」を見学しました。教室の窓を開け放ち、外套をまとった身にもこたえるような寒風のなか、教師も生徒も上半身裸体となって目を閉じ、静かに端座し、精神の統一を図っていました。「かく裸体端座せる学生の心やいかに察するに余りあり」と彼は驚きとともにその感想を「休暇なき学校」と題する一文のなかで、母国ロシアの教育界に紹介したのです。(「こかげ」二巻一九号)

成蹊学園創立者中村春二は、公教育における「精神教育の欠陥」を指摘し、「九二(明治四五)年四月成蹊実務学校開校当初から、「凝念」という精神修養法を行いました。それは、当時健康法のひとつとして流行していた「岡田式静座法」に座禅の精神を加味したもので、瞑目端座して腹部に力を入れ、無念無想の境地に身を置く精神統一法です。授業開始前の三〇分間、職員生徒が全員この「凝念」を行うことで集中力を高め、真剣な学習態度を養いました。さらに修行的意味を深め、寒中であれば「裸体凝念」を、暑中であれば「綿入れ凝念」を行い、さまざまな状況に打ち克てるような肉体と精神力を鍛錬しました。中村は、「凝念」によって生徒各々の「心」の力を養成し、「真我の發揮」を導こうとしたのです。

一九三三(大正二)年秋には小林「郎作」心

集中と自発的精神の養成のために 一裸体凝念一

力歌(心の力)が完成し凝念の後に唱和することになり、「凝念」とともに成蹊教育実践の要となりました。中村の遺稿となった「教育に応用したる凝念法―集中と自発的精神の養成法」(『くちなし』二巻二号一九九号)では、「凝念」の目的や適切な実施法と教育観が述べられています。

中村は「自発自奮」の強固な精神を持ち「国家の中堅」となる青年を世に送り出すために、「凝念」を通じて人格の陶冶に力を入れました。このような創立者中村春二の教育にかける情熱は、今日も人格教育を中心とする本学の教育理念に受け継がれ、その底流に脈々と流れ続けているのです。

(成蹊学園史料館 山川晴美)



写真:寒中裸体凝念の様子1918(大正7)年

Contents

- 2 新年を迎えて
- 4 400mグラウンド竣工
- 5 成蹊音楽祭開催
- 6 桃李の人々(上原 明)
- 9 成蹊教育のいま(岩崎 学)
- 10 大学の近況
- 12 中学・高等学校の近況
- 14 小学校の近況
- 16 募金局だより
- 18 学園トピックス
- 19 2009年度の就職状況について
- 20 成蹊教育を知る

人工芝、最新設備を誇る400mグラウンドが竣工 2010年 新年のごあいさつ



インタビュー
桃李の
人々

大正製薬株式会社
代表取締役会長兼社長

上原 明

生徒会長として得た経験が
大きな契機になっています



成蹊学園広報

2010年1月10日 発行
学校法人 成蹊学園総務部広報課
東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 電話(0422)37-3517
URL <http://www.seikei.ac.jp> e-mail koho@jim.seikei.ac.jp





新年を迎えて

創立100周年に向けて邁進する
成蹊学園にご期待ください

皆

さま、明けましておめでとうござい
ます。昨年三月末、成蹊学園理事長に就
任して以来、瞬く間に新年を迎えることとなり
ました。常日頃よりご父母ならびにご卒業生、
関係各位の皆さまから、温かいご支援とご協力
を賜り、誠にありがたく、厚くお礼申し上げます。

房完備のグラウンド本部棟を中心に、収容人数
一二〇〇名となるスタンドが整備されたほか、照
明設備も増設され、体育大会などの学校行事やラ
グビー、サッカー、陸上競技などの課外活動がこ
れまで以上に活発に行われることを期待してやみ
ません。

小中高大、すべての児童、生徒、学生が在学中
に一度は利用するこのグラウンドには、公募によ
り『けやきグラウンド』という名称が付けられま
した。躍進する成蹊学園にとっての新たなシンボ
ルの一つになるものと自負しております。

活 発な社会貢献活動と 環境への取り組み

このような施設・設備といったハード面での改
革とともに、昨年はまた、教育環境の充実や教育の
質の向上、児童、生徒、学生たちのさまざまな社会
的貢献への取り組みといったソフトの面でも、数
多くの成果を挙げることができた年でありました。
小学校では一昨年、全学年で四学級体制が完
成し、学園創立以来の基本理念である少人数教
育をさらに発展させることができました。昨年
はその制度が定着し、さらに確固たるものに熟
成した年であったと思います。

また中学・高等学校では、一昨年までに完成
したそれぞれのホームルーム棟の利用が進み、
中学・高等学校の一貫教育をはじめとする教育
内容が、より一層充実してきました。
地球温暖化対策を推進している「エコ大学」

学 園本館・ 四〇〇mグラウンドの竣工

昨年一年間を振り返りますと、世界的な景
気の低迷や新型インフルエンザ大流行などの
ニュースが連日報じられた一方で、歴史的な政
権交代という「変革の兆し」を感じさせる大き
な出来事を経験した年でもありました。

そうした時代の大きなうねりのなかで、成蹊
学園が総力を結集して推進しております「新・成
蹊創造プラン」は、創立一〇〇周年を二年後に控
え、いよいよ総仕上げの段階に至っております。

二〇〇二年以来進められてきた数々の施策に続き、
岸前理事長のご尽力により着手された数々の記念
事業が、次々と実現してまいりました。

さらに昨年四月の、学園の歴史と伝統を象徴
する学園本館の耐震補強を主とした改修工事の
竣工と、十二月の四〇〇mグラウンドの改修工
事の竣工は、創立一〇〇周年に向けた大きな出

として、当大学が私立大学部門において、全
国三位に輝いたことも、学園にとって大き
なニュースでした。学園では長らく、環境問
題に熱心に取り組んできております。一昨年
「ISO14001」の認証を取得したことは、
そのひとつの成果といえるものでしたが、そこ
に「エコ大学」全国三位という実績が加わった
ことは、学園全体の環境への取り組みの確かさ
を証明するものであり、大変誇りに思っており
ます。

大学において、学生による自主的な団体「学
生ボランティア本部」が発足したこと、
そして大学組織として「社会貢献活動支援委員
会」が組織されたことも、注目すべき動きであ
ります。国内のみならず、海外でも社会貢献活
動を積極的に行っている学生がいることは、大
変たのしい限りです。

私自身は、長年にわたり「ものづくり」に携
わってまいりましたが、何も工業製品のような
形あるものの生産だけが「ものづくり」ではな
いと考えております。目には見えない知恵や情
報など、人々に「便利さ」や「楽しさ」といつ
た付加価値を与えることも、立派な「ものづく
り」です。さまざまなハンディキャップを持つ
人たちが活躍する生き方は私たちに「勇氣」と
いう付加価値を与えてくれます。また、そうし
た人たちに貢献するボランティア活動も、多く
の人に付加価値を与える大切な「ものづくり」
であることを、成蹊学園の児童・生徒・学生た
ちには理解してほしいと思っています。



理事長
佃 和夫 (つくだ かずお)

【略歴】

- 1968 年 東京大学大学院 船用機械工学専門課程修了
- 1968 年 三菱重工業株式会社入社
- 1986 年 成蹊大学非常勤講師（工学部）
（1991 年 3 月迄）
- 2003 年 三菱重工業株式会社取締役社長
- 2006 年 成蹊学園理事
成蹊学園評議員
- 2008 年 三菱重工業株式会社取締役会長
- 2009 年 成蹊学園理事長

来事でありました。

学園本館の耐震補強とともに行われた改修工
事の一つは、外壁タイルをすべて新しいものに張
り替える大掛かりなものでしたが、工事関係者の
方々のご尽力により、外観の印象は改修前とほ
んど変わらず、オリジナルの風情を忠実に復元す
ることができました。なかでもエントランス上の
外灯のデザインは、わずかな写真を手がかりに竣
工当時のものを見事に再現しております。伝統あ
る学園本館の佇まいを次の世代へと引き継ぐこ
ができたことを大変嬉しく思うとともに、改修工
事に携わっていただいた多くの関係者の方々に深
く感謝を申し上げる次第です。

次に、一〇〇周年記念事業の一つである四〇〇
mグラウンドの整備は、およそ六か月間に
わたった改修工事が無事竣工しました。新た
にウレタン舗装が施されたトラックレーンの
内側に、鮮やかな緑の人工芝を配し、そこに
「SEIKEI」の文字を刻み込んだすばらしい
グラウンドとなっております。放送室のある冷暖

「和」の精神を育む 成蹊教育

厳しい経済環境が今後も続く予測されてい
るなかで、日本は今、変革の時を迎えておりま
す。中国などのエマージングカンントリーが次第
にその輝きを増すなかで、日本はともすればそ
の影が薄くなったかのように見えることもあり
ますが、しかし私は、日本がふたたび世界の中心
で存在感を発揮することは十分可能であると考
えています。その礎となるのは、これまでも日
本を支えてきた世界に冠たる「ものづくり力」、
そしてその力を進化させ続けてきた「和」の精
神と、「長い目で成果を待つ心のゆとり」であ
ると思っています。

学園創立者中村春二先生が掲げられた「個性
の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」とい
う教育の基本理念は、一人ひとりが自身の個
性を発揮しつつ、ともに協力・協調して物事
の実践にあたることの大切さを謳っております。
その伝統が今も息づく成蹊学園の教育環境
は、二十一世紀の日本を切りひらく人材を育む
に相応しいものだと感じています。

二年後に迎える創立一〇〇周年に向け、本年
も学園では教職員一丸となって邁進してまいり
ます。児童・生徒・学生の皆さんにはさらなる
健闘を、そしてご父母、関係者各位の皆さまに
は倍旧のご支援をお願い申し上げます。

成蹊学園創立100周年記念行事 第3回 成蹊音楽祭

2009年12月20日（日）、成蹊学園本館大講堂にて成蹊音楽祭が開催されました。
小学生から卒業生まであらゆる世代の成蹊関係者が音楽を通じて一堂に会するまさに成蹊の
“大家族主義”を感じさせるイベントとなりました。

第一部

第一部では小学校、中学・高等学校、卒業生、保護者が出演しました。小学校からは箏曲有志の会・和太鼓部・プラスバンド部が出演し、琴の独特の調べや和太鼓の元気な演奏は新鮮な印象を与えました。また、プラスバンド部は今年オリジナルジャズ“希望のこみち”に挑戦しました。

中学・高等学校からはウィンドオーケストラが出演、4組のアンサンブル編成で天空の城ラピュタメドレーなど親しみのある曲が演奏されました。

卒業生による成蹊グリークラブは昨年に引き続き柏陽一さんを指揮者とし、赤とんぼなど懐かしい曲を中心に合唱しました。保護者による成蹊コーラスは相澤直人さんを指揮者に合唱を披露、美しい歌声が会場に響き渡りました。

第二部

第二部では、中学・高等学校のストリング・オーケストラがオペラ「魔笛」などクラシックを演奏、日頃の練習の成果を見せました。大学管弦楽団・成蹊OB・OGオーケストラは今年も卒業生の高井優希さんを指揮者とし、息のあったすばらしい音楽を奏でました。

第三部

第三部では、今年初出演となるコンパルサウンズジャズオーケストラOB・OGバンドが演奏しました。DANCE TEAM JAM[z]OB・OGとの競演など、多彩な音色と演出に会場は大いに盛り上がりました。

出演団体と演奏曲目

	団体名称	曲 目
第一部	小学校 箏曲有志の会	六段の調 さくらさくら たきび
	小学校 和太鼓部	秩父屋台囃子
	成蹊OB 成蹊グリークラブ 指揮：柏 陽一	叱られて 鳥の番 雀の番 赤とんぼ Sing Along The Whiffenpoof Song 千の風になって
	保護者 成蹊コーラス 指揮：相澤 直人	ほほえみ 夕焼け いわし 今日もひとつ
	小学校 プラスバンド部	オリジナルジャズ“希望のこみち”
第二部	中学・高等学校ウィンドオーケストラ (中高吹奏楽部)によるアンサンブル	ビゼー「カルメン」の主題によるファンタジー 「金管六重奏曲」第一楽章・第三楽章 天空の城 ラピュタメドレー 3つの小品
	中学・高等学校 ストリング・オーケストラ	Ave verum Corpus Zauberflöte (オペラ「魔笛」) ～第2幕 僧侶の合唱～ Divertimento K.V.137 Adagio for Strings
	大学 成蹊 OB・OG 大学管弦楽団 成蹊 OB・OG オーケストラ 指揮：高井 優希	交響曲第8番ト長調 作品88 成蹊学園校歌（アンコール）
第三部	成蹊 OB・OG コンパルサウンズOB・OGバンド	Dimensions in Blue Autumn Leaves All of Me Lincolnshire Poacher Jersey Bounce Fun Time String of Pearls（真珠の首飾り） Moonlight Serenade Pennsylvania 6-5000 In The Mood Sing Sing Sing（アンコール）

公募により「けやきグラウンド」と命名

400mグラウンド 改修工事が 竣工しました

全天候型のグラウンドが完成

昨年十二月十日、多くの関係者のご協力を得て四〇〇mグラウンドの全面改修工事が、無事に竣工の日を迎えました。
改修の内容は多岐におよびますが、まずトラック部分をハレーンに拡張し、アウトフィールド部分と併せて全天候対応とすべくウレタン舗装を施しました。この仕様は、児童・生徒・学生が正課授業、課外活動などで使用することを考慮して、衝撃吸収性を高め、かつ地表温度の過剰な上昇を抑えるべく表面処理を施した、疲れにくく、転倒時の安全性に優れたものとなっています。

フィールドの人工芝化で安全性が向上

インフィールドはラグビーおよびサッカーの公式戦が開催できるよう公認規則に適合したものとし、これも児童・生徒・学生の授業や体育大会、さらには大学生の激しい課外活動の際に怪我がないよう、天然芝に近い感触が長期間維持される最高品質のロングパイル人工芝を敷設しました。排水性能についても武蔵野市都市整備部のご指導をいただき万全を期しました。東西それぞれのインゴールエリアには鮮やかな白抜きで「SEEKIE」の文字が嵌め込まれ、そこでプレーする者に母校への誇りを喚起させます。
トラックの舗装と人工芝の敷設作業では、驚くほど多くの工程で職人さんによる地道な手仕事が行われていたのが印象的でした。トラック表面にローラー刷毛でエンボス（凹凸）を付ける作業、広げた人工芝をハンドミシンで縫合していく作業などはいくら眺めていても見飽きないほど興味深いものでした。小中高大の体育

科の先生方や、生徒、学生、さらにOBを含めた課外活動関係者の方々には、こうした工程を知っていただくことにより、グラウンドへの愛着をさらに深めてもらおうと思い、工事現場の見学会を何度か開催しました。

最新機器を備えたグラウンド本部棟と照明設備

強化プラスチック製のベンチが敷設された南側メインスタンド中央部には、放送室とトイレを備えた冷暖房完備のグラウンド本部棟が新築され、天然芝を敷いた北側の土手と併せて一二〇〇名収容のスタンドが整備されました。このグラウンド本部棟の屋上部分は庇屋根付スタンドとなっており、さらにメインスタンド東側には、車椅子用スロープも整備されました。他にも、照明設備については、近隣への配慮と省エネルギーを考慮しつつ、夜間練習が可能となる明るさが確保できるよう増設しました。ラグビー、サッカーの試合用には、タイマーとデジタル式電光表示の移動式スコアボードも備えられました。



グラウンド本部棟



人工芝のフィールド

多くの方々のご尽力があつてこそ

私事に触れてたいへん恐縮ですが、成蹊学園で中学・高校・大学生活を過ごしてきた私にとって、昨年の管財課着任早々から、学園本館改修工事と四〇〇mグラウンド改修工事に関われたことは誠に幸いなことでした。

特に今回のグラウンド改修工事では、公認規則に明文化されていない細部の仕様について、陸上競技部OB会およびラグビー部OB会の諸先輩方から多くの適切なアドバイスをいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

さらに、数々のご無理を受け容れて工事を行ってくださった（株）三菱地所設計および奥アンツカ（株）、（株）大林組、ならびにその他の協力会社の方々にも深く感謝いたします。

多くの児童・生徒・学生、卒業生ならびに教職員にこのグラウンドが広く使用され、永く愛されることを願います。



トラック

多くの応募の中から 新名称は 「けやきグラウンド」に 決定しました!!

10月26日から11月7日まで、学園の各学校の児童・生徒・学生および教職員を対象に400mグラウンドの名称を募集しました。学園協議会委員、体育施設連絡委員会委員長による選考を経て、最優秀作品として「けやきグラウンド」に決定。受賞者には粗品として図書カードが進呈されました。

（財務部管財課施設営繕担当課長 熊崎和宏）



フィールドワークを通して
自然の偉大さを体感

―成蹊学園に入学されたきっかけから
教えてください。

上原 小学校一年生の時は自宅近くの区立松原小学校に通っており、二年生から成蹊小学校に編入しました。終戦直後の混乱期で、くわしい事情は不明ですが、おそらく両親が成蹊教育に共感していたのでしょう。私が入学してからずっと、父（堀田庄三氏。当時、住友銀行頭取）はPTA会長を務めていました。

―小学校時代の思い出を聞かせてください。
上原 二年生から六年生まで、清水晴男

インタビュー 桃李の人々 vol.24 卒業生ロングインタビュー

社会への貢献のために必要なら
競争を勝ち抜くべきという教え

―そのほか、印象に残っている先生はい
らっしゃいますか。

上原 高校二年生のホームルームでの松田満夫先生の言葉が、今でも心の支えになっています。そろそろ受験を意識し始めた時期で、私はある悩みを抱えていました。「大学入試は合格者数が決まっている。自分が合格するには、誰かを蹴落とさなければならぬ。たとえそれが友人であってもだ。あるいは社会に出て、役職のポストを友人と争うこともあるだろう。自分の成功が他人を蹴落とすことにつながるなんて、納得できない」という悩みです。私はそれをホームルームの時間に、皆の前で松田先生にぶつけたのです。先生はしばらくじっと考えておられて、こう答えられました。「まずは君が将来、何をやりたいのか、志を持ちなさい。その志は多くの人々に貢献できるものであり、それを実現するために、そのポジションに就くことが必要だというのなら、敢然として立ち向かい、勝ち



大正製薬株式会社 代表取締役会長兼社長

上原 明

Akira Uehara

日本を代表する製薬会社のトップとして活躍されている上原明さん。小学校から高校まで成蹊学園で学び、テニス部、演劇部、生徒会長など、アクティブな学園生活を送られたようです。当時の思い出と、今後の成蹊教育に期待されることなどを語っていただきました。

生徒会長の経験から生まれた
問題意識が経営者としての
重要な視点を確立する上で
大きな契機になっています

先生が担任でした。著名な国語の先生で、よく他校の先生方が授業参観に訪れることもあったほどだったのですが、最後まで現場にこだわり、生涯一教師を貫かれた方でした。

自然を愛する先生で、毎朝散歩をされて、その日の雲を絵画帳に描きとめておられました。図画の授業時間に、私があまり深く考えずに樹木を描いたところ、「雲の形は毎日違うから面白い。木も同じだ。一本ずつ枝の張り出し方は異なる。もっとよく観察して描くようにしよう」と言われたことが印象に残っています。

清水先生が千葉出身だったこともあって、幕張に潮干狩りに行ったり、長者町でキャンプしたり、館山や富浦にも連れていっていただきました。学園裏の武蔵野の畑の中をよく散策しました。本館屋上で富士山を遠望しながら、「富士山のようなどっしりした人間になろう」と語りかけられたこともあります。そうしたフィールドワーク体験を通して、自然の偉大さ、自然に対する畏怖の念や、友人

たちとの協調性が、知らず知らずのうちに身に沁みていった気がします。

―全人的な教育をされる先生だったの
ですね。

上原 そう思います。早朝は必ず、始業前に教室の前後や廊下をから拭きする作業からスタート。その後、学校の周囲を一周走ります。それを五年間続けたので、校内マラソン大会では私のクラスが上位を独占していました（笑）。

また、小学校の卒業写真集の最後のページには、お世話になった二人の用務員さんの写真が掲載されていました。法被を着てゲートル巻きの男性の用務員さんがシャベルを使ってストープに入れる石炭をかき出し、女性の用務員さんがそれをバケツで受け取る姿です。この写真が卒業写真集の掉尾を飾ることによって、清水先生は「職業に貴賤はないし人間には上下関係など存在しない」ということを教えたかったのだと思います。

取るべきです」。目からうろこが落ちた思いでした。競争に勝つこと自体が目的ではない。その先に何を成すべきかを見据えることが大切だ。何よりも重要なのは、社会に貢献するという志を持つことだ。そう気づいた私は、その後、世の中にお返しをしよう。お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。そう心がけてきたつもりです。

演劇部に所属し

ラジオドラマにも出演

―部活動は何をされていましたか。

上原 演劇部に所属していました。一学年上に山本圭さん、同期に東野英心さん、長山藍子さん、文学座創立メンバーの三津田健さんのお嬢さん・伊沙子さんなどがいて、錚々たるメンバーだったのですが、小学校時代の学芸会の「泣いた赤鬼」では、私が主役の赤鬼の役をやるなど、けっこうスターだったのですよ（笑）。小学校四年生頃からは、成蹊の先輩で、劇団キュービットを主宰されていた星野和彦さんにスカウトされて、いくつかのラジオドラマにも出演しました。演出家からは「下腹から声を出せ」と、何度も怒られましたが、人前で緊張することなく、はつきりとした声で伝える力が身につき、今、とてもプラスになっています。

―中学、高校と生徒会長も務められた
のですね。

上原 小学生の時、同級生同士で「お互いのプロフィールを書いてみよう」ということがありました。私は、ある人々からは「おせっかい」、別の人々からは「面倒見がいい」と書かれていました。同じことの裏表なわけですが……（笑）。そんな性格だったので、生徒会長を務めることになったわけです。

これはいい経験になりました。皆の意見を客観的に聞こうとする意識が養われたからです。もともと、その姿勢には弊害もあります。まったく正反対の意見が出されることもあるからです。Aさんの意見を聞いて、Bさんを説得しようとする、Bさんにもそれなりの理論があり、どちらが正解なのか、よく分からなくなってしまう。どうすればいいのかが、気持ちが揺れ動き、悩みました。この時の経験が、後に経営者として意思決定をくださなければならぬ立場になった時に役立っています。

―経営者として意思決定する場合に重
要なポイントは何だとお考えですか。

上原 「本来どうあるべきか」「長期的に考えて正しいのはどちらか」の二つの視点が重要になります。最も悩むのは、短期的にメリットがあるが、長期的にはそうあつてはいけないケースです。人間は弱いもので、つい目先のメリットに走りがちです。そこに落とし穴があるわけです。たとえば、企業の営業戦略でも、期末に赤字が発生しそうになって、安値乱

売して帳尻をあわせようとすると、短期的にはそれで乗り切れても、マーケットが混乱してしまい、翌年以降、大苦戦する可能性が高いのです。ですから、本来の使命とは何か、根本的に見直すことが重要になります。当社でいえば、研究開発を充実させ、社会に貢献できる製品を作り、提供することが第一義です。第二義は、その過程を通して、従業員の雇用を確保し、待遇をよくすること、および取引先、顧客を含めたステークホルダーを大切にすることです。配当などはその結果としての第三義にすぎないのです。ところが、第三義であるはずの短期的なメリットを追究しすぎたことによって、今回のリーマンショックを招いたわけです。長期的な視点、本来あるべき姿を忘れて、金融相場に踊らされてしまつてはいけない。経営者にとって、その意識がきわめて重要になると、改めて痛感しています。

―その意識のバックボーンになっ
てるのが、生徒会長を務められた時の経験
なのですね。

上原 振り返ってみると、生徒会長の時に悩んだことは、同じ原因に起因していたことが分かります。つまり、一人は長期的、もう一人は短期的な視点に基づく意見だったわけです。当時、その場で解答が得られたわけではありませんが、その問題意識が芽生えて、悩み続けてきたことが大きかったと思います。経営者と

成蹊教育のいま

成蹊の“学び”を
レポート



No. 11

大学・
理工学部

統計リテラシーの 普及と高度化を目指して



統計的データ解析 い わ さ き ま な ぶ 岩崎 学

成蹊大学理工学部情報科学科 教授
東京理科大学大学院理学研究科数学専攻修了。理学博士。茨城大学工学部、防衛大学校を経て1993年成蹊大学着任。1997年より教授。日本統計学会小川賞(1992年)、日本行動計量学会優秀賞(1994年)受賞。統計関連諸学会の理事・評議員を歴任し2010年1月現在日本統計学会理事長、内閣府、消費者庁などの審議会委員も務める。『統計的データ解析のための数値計算法入門』(朝倉書店)など統計関連の著書多数。

PCとネットワークの飛躍的な発展により各種データがより身近なものとなってきた。統計学はデータの収集から分析、そして結果の解釈に至るまでの一連の流れに寄与する学問体系である。統計リテラシーとは各種統計データからその意味するところを読み取り、それを意思決定などの実際の判断に役立てるための能力であり、この能力を学生に身につけさせるよう教育を行っている。実際の教育現場を紹介しよう。

教室では（少人数でなくても）
情報科学科では統計関連として二年次の前期に「確率論」(後期に「データ解析法」)の授業を展開している。どちらも一学年全体を二クラスに分け(朝の一時限目と二時限目)、一クラスあたり七十名程度とし



上原 明（うへはら・あきら）

1941年、東京都生まれ。成蹊小学校に2年から編入し、中学・高等学校を経て、1966年、慶應義塾大学経済学部卒業。在学中に、アメリカのミズリーヴァレーカレッジ、ダートマス大学ビジネススクールに各1年間留学。慶応大学卒業後、NECに入社し、1977年に大正製薬に入社。取締役、専務、副社長を歴任し、1982年、社長に就任。1997年から2007年6月まで成蹊高等学校同窓会会長を務めたほか、現在、成蹊学園評議員会議長、理事も務めている。

しての修業を積む中で、その頃の経験と
考え合わせることで、自分なりの
考え方を確立することができました。

ディベート教育の充実など 多様な教育方法の開発を望む

―今後の成蹊教育への期待をお聞かせ
ください。

上原 小学校時代は、自然に触れ、体を
動かし、さまざまな体験を通して、豊か
な感性を養ってほしいですね。中学では、
できるだけ視野を広げて、さまざまな世
界があることを知ってほしいと思います。
高校ではディベート教育の充実を期待し
ています。ディベートを通じて、テーマ
のポイントを論理的に把握し、相手の立
場も理解しながら、自分の考えを明確に
表現できる力を育んでもらいたい。それ
によって、物事には両面性があり、視点
を変えたとまったく違って見えることが
分かり、多角的に考えることができるよ
うになり、他の人とのコミュニケーション
もスムーズになる筈です。

―大学教育についてはいかがでしょうか。

上原 当然のことながら、大学では知識
の詰め込みに終始することは厳に戒めな
ければなりません。洗練された文章力、
プレゼンテーション力、論理的思考力、
深い研究力、コミュニケーション力など
を鍛えてほしいと思います。そのために
は、学生の興味・関心を引き出すことが

重要です。その有効な教育方法の開発に
も力を注ぐことを期待しています。

―成蹊大学では、二〇一〇年度から新し い教養教育もスタートします。

上原 せっかく新カリキュラムが始動す
るので、具体的な中身にも工夫を
凝らしてほしいと思います。たとえば、
国際教育の推進も旗印の一つになってい
るようですが、これからはアジアの時代
ですから、もっとアジアの国々の文学、
宗教、価値観、社会、経済、マーケット、
生活水準などをトータルに理解できるよ
うな教育科目を充実させることも重要に
なると考えています。

また、成蹊大学の周辺地域では高齢化
の進行が顕著です。その立地環境を踏ま
えて、地域の人々とも連携して、高齢化
問題に真正面から取り組むことも、今後
の課題になるでしょう。

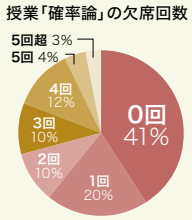
世の中に貢献することを通じて 自己を確立してほしい

―最後に、後輩へのメッセージをお願い
します。

上原 人生には四つの節目があるという
のが私の持論です。最初は二十歳まで
で、知識だけでなく、芸術、運動も含め
て、さまざまなことを勉強して吸収する
時期です。次いで二十歳から四十歳では、
社会に飛び込んで一生懸命働く時期です。
よく生きがいを感じられる仕事が見つ

ゼミでは（少人数であればこそ）

て授業を実施している。私は欠席をマイナス一、遅刻
をマイナス〇・五としているのだが、二〇〇九年前期の
「確率論」では、表に示すように四割の学生は無遅刻
無欠席。二割の学生が一欠席ないしは無欠席一遅刻で
ある。授業への出席率はかなり高いと言えるであろう。
朝早起きし過ぎて授業中眠くなる学生もいるよう
であるが、すべて名前を呼んで起こす。つまらない話
でも聞いている振りをする技術は社会に出て役に立つ
から、とか言いながら(つま
らない話では決してないの
だが)、私語もさせない。こ
れも名前を呼ぶ。とにかく名
前を呼ぶことが肝要である。



受賞論文を背に学生たちと私

情報科学科では三
年の後期から実質的に
各研究室への配属が決
まる。私の統計学研究
室にも二〇〇九年九月
に十三名の学生が配属
となった。ちなみにこ
の年度は学生数の多い
年で、それまでの二年
間は共に十名ずつの配属であった。ゼミではここ二
年ほどAP(Advanced Placement)と
いう米国での高大連携プログラムの一つであるAP
Statisticsのコースで米国の高校生が実際
に使っている参考書の講読ならびにその解説本の作
成に取り組んでいる。まだ「英語は訳すもの」との感
覚から抜け出せない学生もいて、私の「中身を理解す
るのが目的で、英語の文法の解説をするつもりはない
からね」という冷たい言葉を浴びながらも学生たち

らないという人がいますが、この時期は
仕事の種類を選ぶ必要はありません。何
でもいいから、とにかく必死に働き、挑
戦し続けることです。もつといえ、こ
の時期はレジャーを楽しんでいるような
余裕はなくてもいい。イチロー選手も松
井秀喜選手も、あれだけの成功を収める
ために、オフシーズンになってもトレー
ニングを怠けることはないでしょう。あ
る程度、趣味やプライベートを犠牲にし
ているからこそ、成果を上げることがで
きるわけです。その上で、四十歳から
六十歳までは、自分を見直すことが必要に
なります。それまでの二十年間で、世界
観も広がっているでしょうし、そのまま
働き続けた場合、どれだけの成果が達成
できるか、将来像も予測できるはずす。
そして、本当にやりたいことが見つかつ
たり、現在の仕事が自分に向いていない
と気づいたら、この段階で転換すればいい
のです。私の知人の中には、四十五歳
の時に、弁護士を辞めて、NPO法人を
立ち上げた人もいます。長い人生、いく
らでもやり直しが可能なのです。六十歳
以降は、それまでに吸収したものを、世
の中にお返しする時期です。途上国に出
向いて獲得してきた知識・技術を伝授し
てもいいし、ボランティア活動に携わる
のもいいでしょう。それがまさに、創立
者の中村春二先生が唱えられた「世の中
にどう貢献できるかを見据えて自己を確
立していく。真我の精神」に通じると、
私は考えています。(広報課)



は必死で英語の文献と取り組んで
いる。これにより彼らの英語の能
力は飛躍的に向上する。無理はさ
せなければならぬ。

卒論では、形になるものを残
すことを目指している。二〇〇八
年度は各学生をグループに分け、
ブックレット(小冊子)作りを行った。それぞれたつ
た五〇〜六〇ページの小冊子であるというものの、
最初から最後まで論理的整合性を保った上で、誤字
脱字を極力なくして外部の目に耐え得るようなもの
を作ることがいかに大変かを学生たちは身をもって
感じてくれたに違いない。

また、私は統計ソフトウェアのSPSS社の主催
する学生研究奨励賞の審査委員を何年も務めている
のだが、二〇〇八年の四年生の学生のうちの三名の
グループが携帯電話に関する調査データの統計解析
の論文を応募したところ、見事「SPSS賞」を受
賞することができた(日本全国からの応募論文四十
数編の中から何らかの賞を受賞したのは五論文の
み)。この達成感は何物にも代え難い。

勉強でも何でもとにかく楽しくなくてはいけない。
「勉強は楽しい」と私は固く信じているし、学生もそ
う思ってくれる日が(いつか)来ることを疑って
はいない。何はともあれ
研究室の楽しそうな雰
囲気は合宿写真(成蹊の
箱根寮にて二〇〇九年
九月撮影)からも伝わ
ってくる。成蹊の一番の魅
力はやはり「人間」であ
ることは疑いないようだ。



大学の近況

四大学運動競技大会で正式種目優勝

第六十回四大学運動競技大会（四大戦）本戦が十月十六日から十八日までの三日間、成城大学を会場にして開催されました。四大戦は、さまざまな分野で交流のある成蹊大学、武蔵大学、成城大学、学習院大学がスポーツを通じて親睦を深める目的で毎年開催している伝統ある行事です。今回は、「誇」という言葉をスローガンに開催されました。特に今大会は、一九五〇年に開催されてから、六十回を迎える記念大会となり、例年以上に熱戦が繰り広げられました。

本学は、総合順位では第二位となり、惜しくも総合優勝は逃しましたが、正式種目では実に三十四年ぶりの優勝をおさめたほか、教職員種目でも優勝するなど、記念大会にふさわしい盛り上がりとなりました。

十月二十七日には、四大戦で活躍し、優秀な成績を取った団体を表彰する「成績優秀団体賞状授与式」が本館前にて行われ、秋晴れのもと、学長よりそれぞれの団体へ賞状が手渡されました。



櫓祭

第四十八回櫓祭が、十一月二十一日、二十二日の両日、「Plus+」というテーマで催され、両日ともに多数の来場者で賑わいました。残念ながら、二日目には雨が降り一部のイベントが中止になりましたが、中庭に設営されたステージでは学生たちの迫力あるライブが繰り上げられたほか、毎年恒例のスタンブラリー「ボン・DE・ビンゴ」や模擬店、成蹊オリジナルのビンゴ大会「Base Ball Bingo」など櫓祭本部による趣向をこらした企画は今年も大好評のうちに幕を閉じました。



環境委員会活動報告

成蹊大学はエコ・リーグ（全国青年環境連盟）主催のエコ大学ランキングで私立大学部門三位を受賞しました。これは、各大学の環境への取り組み状況を調査し、積極的に地球温暖化対策を行っている大学を「エコ大学」として表彰するものです。昨年、成蹊学園が環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001を取得したことも評価されたと思われますが、学生の日々の協力により電力などの使用が二〇〇七年度比で十％減少したことが大きく評価されました。また、二〇〇六年七月に発足した学生環境委員会「桃球」は四年目を迎え、ますます充実した活動を行っています。今年度は、環境セミナーの実施、屋上緑化を進めている施設の見学、富山でのエコツアー体験などを行ってきました。さらに、一年半前から行っているペットボトルキャップの

験が行われます。

試験日は二月三日（水）の午後からで、他の一般入学試験である本学独自の三教科型（A方式）や、大学入試センター試験利用型（C方式、S方式）との併願もできます。

大学見学、入試に関するお問い合わせは左記までご連絡ください。

◆入試センター 電話 〇四三二三七七三三三三

二〇〇九年度体育会総会

十二月四日、二〇〇九年度体育会総会が本館大講堂で行われ、本年度の活動報告のほか、来年度の新役員が紹介されました。

また、この一年間の活動で特に優秀な成績を収めた団体および個人に対する表彰式が行われ、体育会会長（学長）より表彰されました。左に受賞者を掲載します。

公開講座「教養の扉 桃李成蹊の真髄を学ぶ」



十一月七日・十四日、十二月五日・十二日のいずれも土曜日、二〇〇九年度後期公開講座「教養の扉・桃李成蹊の真髄を学ぶ」が開催されました。今回も武蔵野市民

回収も十万個を超え、全国の大学部門で十三番目に多く回収した大学になりました。ペットボトルキャップ十万個はCO2削減効果約八〇〇kg相当となります。

十一月には成蹊小学校の五年生とマイ箸推進のため、箸袋作成を行いました。このような小学生との交流も含め、大学だけでなく学園全体の環境活動を行っています。



経済学部特別表彰式

経済学部では、学生の学業に対するモチベーション向上を目的に、成績・人物・卒業研究等において優良であると認められた学生を表彰しています。十月十三日、二〇〇九年度前期成績優秀者を対象とした経済学部学生特別表彰式が行われ、四名の学生に対し、藤垣芳文経済学部長より賞状および副賞（図書カード）が贈呈されました。



島野 杏・高橋 美樹
田中 孝治・野地 かほり（いずれも3年）

薬物撲滅キャンペーン実施について

近年、他大学において、大麻をはじめとする薬物の所持・栽培などにより、相次いで学生が逮捕される事件が発生していました。このような状況から、本学では掲示やホームページを使用して注意喚起を行ってきましたが、誠に残念ながら、十月下旬に本学の学生が大麻所持容疑で逮捕されるという事件が起きました。

成蹊大学として、この事実を厳粛に受け止め、今後、学生部を中心として、全学的に薬物乱用防止に取り組むことといたしました。

事件後すぐに、各学部・各研究科の協力を得て、

応援指導部チアリーダー部「DELPHIS」がマスコットキャラクターを製作

の方々をはじめ、多くの方にご参加いただきました。なお、来年度も前期・後期にそれぞれ開催いたします。詳細については、追ってホームページなどお知らせいたします。



チアリーダーハローキティ
販売価格:500円(税込み)
サイズ(約):縦8cm×横最長7cm
©1976, 2010 SANRIO CO., LTD. G
APPROVAL NO. G5012022

学位授与式のご案内

二〇〇九年度成蹊大学学位授与式を次のとおり行います。

- 日時 三月十九日（金）十時より
- 場所 大学体育館

―ご来場のみなさま―

式場が手狭なため、式場への入場は修了者・卒業生（本人に限らせていただいております。このため、ご来校の際には、モニター放送により式の様子を別会場でご覧いただくことになります。予めご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

モニター会場は、大学四号館ホール他です。

（お車でご来校は、遠慮願います）

2009 年度体育会受賞者

●優秀団体賞

剣道部（男子）
関東学生剣道優勝大会 ベスト16
全日本剣道優勝大会出場 2年連続

硬式庭球部（男子）
関東学生硬式テニス連盟 5部昇格

ソフトボール部（女子）
東京都ソフトボール連盟 2部昇格

ヨット部（女子）
全日本女子ヨット選手権大会 総合7位

柔道部（女子）
全日本柔道優勝大会出場

●優秀個人賞

中村 美貴（ソフトボール部）
東京都ソフトボール連盟 第3部秋季リーグ
首位打者
最優秀選手賞受賞

田中 俊（陸上競技部）
全日本ライフセービング選手権大会
2kmビーチラン 4位入賞
全日本ライフセービング種目別選手権大会
オシャンウーマンリレー 3位メンバー

田中 智之（ライフセービング部）
全日本学生選手権
サーフスキー 1位
ボードリレー 8位メンバー
オシャンマン 8位入賞

木村 龍志（ラクロス部男子）
U-22日本代表進出

金沢 翔太（ラクロス部男子）
U-22日本代表進出

中学・高等学校の近況

新型インフルエンザの流行

今年度二期の近況をご報告するにあたり、新型インフルエンザの話題は避けて通ることのできないことだと思えます。前回ご報告しましたとおり、中学校夏の学校、高等学校学習旅行、夏休み中のケンブリッジ、カウラへの短期留学はすべて無事に終了いたしました。クラブ合同では新型インフルエンザ発症が数例報告され、合宿日程を短縮したクラブもありました。二期期に入り夏休み中の経験をふまえ警戒を続けておりましたが、九月半ばになって中学生の発症例が増えてきました。東京都教育委員会が公立学校向けに作成した指針に基づき、成蹊中高ではクラス在籍者の一割が新型インフルエンザまたはこれが疑われる症状で欠席したときに学級閉鎖の対象とすることとしており、九月十九日の中学二年生一クラスの学級閉鎖を皮切りに閉鎖クラスが相次ぎ、いわゆるシルバーク明けには中一、中二を学年閉鎖とする事態となりました。十月はじめに予定された文化祭（蹊祭）の開催も危ぶまれる状況となりましたが、九月末には小康状態となり、文化祭は後述のようにやや異例の形ではありますが、開催することができました。

一方、高校生は九月はさほど発症者がいませんでしたが、十月に入って徐々に増え始め、高校一年生複数クラスでの学級閉鎖、高校二年生での学年閉鎖などが行われました。さらに高校一年生では中間試験中の十月下旬に学年閉鎖を余儀なくされ、一部の試験を繰り延べるという異例の対応をとることになりました。

十一月半ば現在、中学・高等学校ともやや落ち着いた状況ですが、今後季節性インフルエンザの流行も懸念され、まだまだ警戒を緩めることはできません。この間、一部行事の日程短縮、公開の制限等の措置をとりました。学校では今後とも万全の態勢で感染拡大の防止に努めて参ります。ご理解、ご協力を賜りたいと存じます。

た。しかし、今度は成蹊の中で、感染も拡大し、万一現地で発症者が出たときの対応に配慮し、またさらなる感染拡大を抑えるため、今回は二泊三日、京都のみでの実施という異例の形をとることといたしました。現地でも数名の生徒が発熱により途中で帰京することとなりましたが、他の生徒たちは元気に行事に参加することができました。特に二日目は生徒たちがグループごとに計画したコースを一日見学してまわるというもので、それぞれのグループが充実した見学をすませ夕刻には全員無事宿に戻りました。日程短縮で当初予定していた奈良、飛鳥方面へ行くことができなかったのは残念でしたが、それぞれに得るものが多い修学旅行だったと思います。



それでは、修学旅行に参加した中学三年生の作文をご紹介します。

●修学旅行を終えて（中学三年 渡邉光）

二泊三日という珍しい修学旅行は、想像通りあつという間に終わりました。けれどそれは日程的な問題ではなく、充分、いえそれ以上に満喫している自分がいたからだと思えます。

成蹊中学の修学旅行の良い点は班単位での自由行動ができること、と先生や親は言いますが改めて今回、京都から帰ってきて深く共感しました。もちろん、班の中では揉め事があつた班が無かつた訳では無いです。けれどその計画はできるだけ最善に京都を楽しませたいという班長の思いでできているもので、苦勞していることをわかつてほしいと思います。こうした気持ちで考えた計画を終え、班の仲間に、この班で良かった、楽しかった、と言われること、つまり人のために考え計画する

高等学校体育大会

九月九日、十日の両日、高等学校体育大会が開催されました。高等学校の体育大会は球技によるクラス対抗の形をとって実施されています。両日ともまずまずの天候に恵まれ、バレーボール、バスケットボール、卓球、フットサル、サッカー、ソフトボール、ドッジボールの各競技が大学の施設を含め校内のさまざまな場所で行われました。春の体育大会で揃えたクラスTシャツを着て、競技に応援に楽しい二日間を大きなケガもなく送ることができました。



中学校体育祭

九月十七日に中学校体育祭が実施されました。晴天に恵まれ太陽の暑さと生徒たちの盛り上がり、熱さを強く感じるなか、大玉転がし、二人三脚、障害物競走、騎馬戦、リレーなどの種目が行われました。昼休み後に行われた恒例の応援合戦では、一年生から三年生までの縦の同一クラスが一丸となり、事前練習の成果を発揮しました。どのクラスの応援も非常に工夫が凝らされていて、審査にあつた校長はじめとする教員は採点に大変苦勞していました。



文化祭（蹊祭）

十月三日、四日の両日、中学・高等学校の文化祭（蹊祭）が開催されました。蹊祭では例年保護者はじめ多くの方が来場され、ことに成蹊中高への入学を希望している方々にも多数ご覧いただいています。今年には新型インフルエンザ感染拡大を防止する目的で、入場を在校生の家族に限定する措置をとりました。来場を楽しむにされていた外部の皆さまには大変申し訳ないことになりましたが、今年のような状況下ではやむを得ないものとご理解いただけたと考えています。



今年の蹊祭は、中高両方の新校舎完成後はじめての開催となり、天候にも恵まれたなか実施されました。中高の各日R棟では、文化部の展示や学年展チャリティバザーなどが行われました。また、高等学校中庭に設けられたイベントステージでは、高校生のクラスやクラブ有志などがダンスを披露したり、中学生生徒ホールでは生徒と教員を交えた音楽の発表も行われました。大教室では、中高ウインドオーケストラ、ストリングス部の演奏、ダンス部、演劇部などの公演が行われ、日頃の成果が発表されました。第一体育館で行われた後夜祭（高等学校）では、クラブや有志による発表に多くの生徒が参加し、文化祭の最後を飾りました。一般公開をしなかったため来場者数こそ少なくりましたが、充実した蹊祭が実施できたと考えています。

中学校修学旅行

例年五月下旬に四泊五日で奈良、京都を訪ねる形で行われている中三の修学旅行ですが、今年はその時期に関西方面で新型インフルエンザの感染拡大があつたため、十月下旬に延期されていま

ことが成功したとき、最高に嬉しいということを書かせてもらう、とても良い機会になりました。そもそも今回の修学旅行で行つた京都は僕にとつて二度目でした。初めての京都ではない分、初めて見る驚きより久々に見る懐かしい気持ちの方が大きかつたです。最終日に行つた三十三間堂などは特にそうでした。「自分の姿、顔がそっくりのものを探してごらん」と言われ一生懸命探していた小学生の頃が懐かし、あのとき見つからなかつたりペンジを込めて探していたものの、よく考えてみればいまち自分の顔がどんなだつたかを覚えていないことに気づき苦笑していました。きつとさらに歳をとつて再び行くことがあるとすれば、まったく同じことを考えるだろうと思います。

しかし、今回は懐かしいだけではありません。僕らの班が行つた仁和寺は初めてで、感動するものがありました。一言で言えば、それは景色です。延期の中で行われた今期の修学旅行で、良い点を言うとしたらそれは季節です。仁和寺は、それがフルパワーで出ていた場所だと僕個人思いました。もみじの葉や下の池、五重塔が上に見えるかと思うとすべてが日の光で輝いていました。絶対一番良い時期に來たと断言できる瞬間でした。もちろん、秋とあつて風が気持ちよく気分が良くなつていたので綺麗に見えた理由だと思えます。

昔と同じ京都なのに違つて見えたところもあり

中学校遠足

今年の秋の遠足は、十一月四日に行われました。中学一年生は奥多摩川井キャンパ場でのカレイライス作り、中学二年生は来年の修学旅行を見据えて鎌倉でのグループ学習行動を行いました。好天に恵まれ、いづれの学年も充実した晩秋の一日を過ごすことができました。なお、中学三年生はこの日を修学旅行後の代休にあてました。



運動部・文化部の活躍

●中学硬式庭球部

〈男子団体〉
東京都中学校新人テニス選手権大会 ベスト8

〈男子個人〉
東京都中学校新人テニス選手権大会
シングルス
松川 爽 ベスト16
ダブルス
松川 爽・観田 淳一 ベスト16

〈女子団体〉
東京都中学校新人テニス選手権大会 ベスト8

〈女子個人〉
東京都中学校新人テニス選手権大会
ダブルス
有馬 千香子・観田 ありさ ベスト8

●中学ソフトテニス部
〈男子〉
第9ブロック新人大大会団体戦 準優勝
都大会 出場

●中学ダンス部
ヤングサウンドフェスティバル(東京都児童会館主催) 参加
ダンス部門

●高校野球部
秋季東京大会 ベスト16

●高校陸上競技部
東京都高等学校新人陸上競技対抗選手権大会
走高跳 鈴木 怜 決勝6位 1m80

小学校の近況

インフルエンザ流行…文化祭延期

新型インフルエンザは、小学校にも大きな影響を与えています。保健室調査では、夏休み中の罹患者は十名、九月二十一名、十月百三十八名と、まさに爆発的な勢いで増加し、学級閉鎖・学年閉鎖ばかりでなく十月初旬には学校閉鎖に踏み切ったため、例年十月に実施してきた文化祭も、準備の学習にさまざまな支障が表れましたので、二月二十六日（金）と二十七日（土）に延期しました。残寒の中での文化祭は、はじめてのことです。

このため、例年十月に実施してきた文化祭も、準備の学習にさまざまな支障が表れましたので、二月二十六日（金）と二十七日（土）に延期しました。

残寒の中での文化祭は、はじめてのことです。

子どもたちによる「学校桃の会」活動

小学校は三学期制ですが、五・六年生による児童会活動（学校桃の会）は二期制で運営しています。十月二十一日に前期の反省を、二十八日に後期の抱負を、それぞれの委員長が全校児童に語りかけました。今号では、後期の委員長のメッセージを掲載して子どもたちの自治活動の一端をご紹介します。（紙数の都合で自己紹介を中心に一部割愛、また漢字表記に変更して掲載しました）

後期代表委員会

後期は、主に校内の危険な場所を見つけ、工夫して改善していくこと。また校舎の使い方を見直し、全校の皆さんやこれからこの成蹊小学校に入学して来る後輩たちのためにも、皆がマナーを守り、この校舎が『気持ちよく学習できる場』であり続けるよう、活動していきたいと思っています。皆さんは、中央館から校舎にかけての階段に左右に分ける線がついていることや、給食室の手を洗う所の床に滑り止めがついていることに気がついたでしょうか？このような



少しの工夫で多くの不慮の事故は防がれています。さらに、校舎の使い方についてですが、最近壁についた汚れが目につきます。昨年完成したばかりの新しい校舎ですから、全校の皆さん一人ひとりの「キレイに使おう」という気持ちを一つにして、後輩たちにキレイなままの校舎を譲っていきたい。よう。後期代表委員会も他の委員会の手本となるようなよりよい委員会を作っていきたいと思えますのでどうぞよろしく願います。

生活委員会

僕みたいな人の生活態度が良くなれば皆さんも良くなってくれると思いますこの委員会に入りました。特に後期生活委員会では、前期の人がやった「廊下を歩こうキャンペーン」を実行したり、きちんと挨拶をしてもらって安全で明るい学校にしたいと思っています。まずは身近な所から委員長の僕が走らないことから始めたいと思います。

環境委員会

後期は、今までやっていた「ペルマークとカートリッジの回収」を止め、環境委員会本来の活動をすることにしました。今まで学級に置いていた回収用の箱はありません。ご協力ありがとうございます。ご設置して今まで通りする予定です。基本的なエコ活動の「ムダな電気を消す」や「水を出しっぱなしにしない」などを全校で気をつけていきましよう。よろしく願います。

集会委員会

後期では、お正月集会と六年生を送る会を実施しようと考えています。前期では、集会の際に声が小さかったり、集まりに遅れる人がいたなどの反省点がありました。後期ではそれを改善し、楽しく



充実した集会を作りたいと思います。今は早速、お正月集会の準備を始めています。がんばりますので、集会を楽しみにしてください。

情報委員会

低学年・高学年新聞の発行、ホームページの作成、校内のポスター貼りなどの活動を行っています。前期では新聞発行数が少なかったのですが、後期では月に二回は出したいと思っています。ためになり、読みやすい新聞の発行、みなさんの見やすい位置にポスターを貼る、もっと中身のつまったホームページの作成を目指しがんばりますので、よろしく願います。

給食委員会

後期は、世界の食べ物と日本の食べ物の比較をテーマにした新聞作りや、給食検定、たまねぎの皮むき体験などのイベントを実施しようと考えています。前期は、スムーズに話し合いが進まなかったという反省があったので、後期は、その反省を改善し、楽しく、より活発な委員会にしていきたいと思っています。どうぞよろしく願います。

整美委員会

後期では、文化祭前の全校清掃の計画、美術室側溝、中央館靴箱の清掃を行うことを計画しています。来ていただいた方々にきれいだと思われるような学校を目指して努力していきますのでよろしく願います。

飼育委員会

後期は、前期に実施することのできなかったNO生殺運動と飼育当番の徹底、そして、前期の反省点の楽しいイベントをたくさん行うなどの事を考えています。NO生殺とは、



生き物を無駄に殺さずに大切にするという意味です。飼育委員会は、一つになりイベントや活動を通して、皆さんに生き物の命の大切さを知ってもらうため、また、動物とのふれあいを大切にしてもらうために一生懸命がんばりますので、どうかご協力よろしく願います。そして、楽しいイベントを楽しみにしてください。

読書委員会

後期は、皆さんにもつと図書室を利用してもらえるような活動をしていきたいと考えています。前期も計画しましたが、本の帯コンテスト、紙芝居、蹊ライブラリー、放送での本の紹介など、これまでの活動をふまえて、よりいっそう充実したものにします。皆さんに今まで以上に本に興味を持ってもらい図書室を利用してもらうと思います。また、皆さんが図書室を気持ち良く使えるように、読書委員が図書室のお手伝いをしたいと考えています。図書室でのマナー、特に静かに周りに迷惑をかけないということをお願いします。よろしく願います。



園芸委員会

後期は、イベントなどを行うことで、よりみなさんに自然の大切さを知っていただきたいと思っています。また、これまでに達成できていない水やり当番を忘れる人をなくすという目標ですが、今期こそ達成したいと考えています。最後に、自然は今問題になっていく地球温暖化を防ぐこと



のできるとても大切なものです。私たち後期園芸委員会では、成蹊小学校がだれ一人欠けることなく自然を愛し大切にすることを学校にすることを目標として活動していきます。何か園芸委員会にしてほしいことがあります。ぜひ提案してください。ご協力よろしく願います。

体育委員会

前期の反省点は、イベントが一回しかできなかった・話し合いの中におしゃべりがあった、などです。後期は、その反省点を改善していきたいと思っています。後期の活動目標は、砂場掘り・遊具の点検・イベントの開催・ポスター作りなどがあります。これらの目標を達成し、よりよい体育委員会を作っていきたいと思っています。よろしく願います。

番組作成委員会

後期は、一年生から六年生までがおもしろいと思う番組を作っていこうと思います。そのために「声が小さかった」などの反省点を改善し、「おおよスムーズに撮影までいった」などの良かった点を伸ばしていきたいです。後期番組作成委員会は、ためになって心に残る番組を作るので、楽しみにしてください。



放送委員会

後期は、前期放送委員会が放送した朝の放送の失敗を活かして、全校の皆さんが見やすい映像、そして聞きやすい音声を目指し、放送の中身はもちろん、今まであまり気にしていなかった聞き手



の皆さんの意見にも耳を傾け、よりよい放送にしたいと考えています。ですから次回の十一月十八日の朝の放送を楽しみにしてください。

保健委員会

後期は全校の皆さんに元氣よく毎日登校してもらう目当てとなる保健目標を実施することになりました。そして前期の委員長さんが述べた「保健当番を忘れる」また「話し合ってもうまく意見がまとまらない」という反省点を改善すること、そして、前期で案が出たイベントや（保健ゲームを配付する）のような活動も積極的にやっていきたいと思っています。最後に、五年生も六年生もお互い協力し合い、よりよい保健委員会を目指していきますのでよろしく願います。

太陽光発電の一年間

昨年九月から使用している新校舎の屋上には太陽光発電パネルが設置され、一階のけやきホール横に発電電力と総発電電力量を表示しています。十一月三日には写真のように総発電電力量が三千三百三十三KWを示しました。使用開始から一年余りのこの数値を普通教室の蛍光灯使用に換算してみました。

教室には三十二W蛍光灯六本が一列となつて五列並んでいます。従って普通教室二十四学級では二十三・〇四KWの電気をを使用することになります。右に挙げた総発電電力量は、二十四学級全教室が六日間昼夜連続で照明を利用したことになる計算です。

改めて太陽光の恵みを感じるとともに、毎日の省エネルギー活動の継続の大切さを子どもたちに訴える環境学習の格好の教材となりました。



パソコン・携帯電話からのクレジットカード決済のご案内

パソコン・携帯電話からのお申し込みによるクレジットカード決済で、
寄付をしていただくことができます。
簡単にお手続きできますので、ぜひご利用ください。

〈パソコンをご利用の場合〉



1 成蹊学園トップページ <http://www.seikei.ac.jp> を開き、画面右上にある「100周年記念事業」をクリックしてください。

2 100周年記念事業ページの左下にある「パソコン・携帯電話からの募金のお申し込みはこちら」をクリックしてください。

以降は画面表示に従って、手続きをお進めください。
決済が完了すると、申込完了メールが届きます。

〈携帯電話をご利用の場合〉

※ご利用いただけるのは、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイに対応した機種となります。



1 上の二次元バーコードを読み取り、空メールを送信してください。読み取れない場合は bokin@sk.seikei.ac.jp に、直接空メールを送信してください。

2 数秒後にURLが記載されたメールが返信されますので、そのURLにアクセスしてください。

3 「成蹊学園募金モバイルサイト」が表示されますので、お手続きください。

以降は画面表示に従って、手続きをお進めください。
決済が完了すると、申込完了メールが届きます。

【ご利用にあたって】

- クレジットカード決済は、個人の方のみご利用いただけます。(法人・団体でのご寄付をご希望の場合は、誠にお手数ですが募金局までお問い合わせください)
- ご寄付者名とカード名義人は同一である必要があります。
- ご利用いただけるカードは、DCカード・VISAカード・マスターカードです。

【お問い合わせ先】

成蹊学園
創立100周年記念事業募金局
電話：0422-37-3941
e-mail：fund@jim.seikei.ac.jp

新グラウンド竣工、
ラグビーの記念試合開催

新グラウンドの竣工を記念して、甲南大学ラグビーフットボール部を招いて記念試合を開催しました。また、試合の後にセレモニーが行われました。



記念試合



セレモニー

成蹊高等学校天文気象部が
新星の観測に成功

成蹊高等学校天文気象部の渡辺昌仁君(高一)が、エリダヌス座で発見された新星(恒星が急激に明るくなる現象)の撮影に成功し、国際天文連合回報(IAUC 9098)に掲載されました。高校生の観測が同回報に載ることは稀有なことです。エリダヌス座新星は、二〇〇九年十一月二十五日に新天体探索家の板垣公一氏が

博多会場
地域懇談会を開催

博多会場

(対象地域：九州地区)

日 程：2009年10月31日(土)
会 場：ホテルクリオコート博多
参加人数：29名

昨年度に引き続き、開催前に希望者を対象に個別相談を行い、学生生活や就職状況などについて話し合われました。懇談会では「成蹊大学現況」「国際教育センターのご紹介」「就職状況説明」の3講演の後、卒業生から成蹊学園での思い出をお話いただきました。第2部の懇親会では、和やかな雰囲気の中相互に交流が深められ、盛況のうちに閉会となりました。

樺祭
展示表彰団体決定

第48回樺祭展示表彰団体が
以下のとおり決定しました。

賞名	団体名
学長賞	樺祭本部企画
学生部長賞	応援指導部
樺祭本部委員長賞	書道部
優良賞	FAC電子計算機研究会 若葉会 汽車旅倶楽部 法学研究会
奨励賞	DANCE TEAM JAM(z) マジシャンズクラブ 写真部 モダンジャズグループ SEIKI Fair Friends 桜梅桃李

〈枯林忌特別展示〉のご案内

二月二十日は成蹊学園の創立者である中村春二先生の命日にあたります。先生は別に「枯林」という名をもっていたので、この名にちなみ学園では二月二十日を「枯林忌」として、先生の遺徳を偲ぶ日としています。例年、学園史料館ではこの「枯林忌」にあわせ、先生が愛したフリージアの花とともに所蔵史(資料)を集めたミニ展示を開催しています。



昨年の展示風景

〈枯林忌特別展示〉

- 会場 成蹊学園史料館一階ロビー
- 会期 二〇一〇年 二月六日(土)～二月二十七日(土)
- 開館時間 九時三十分～十六時三十分
※土曜日のみ九時三十分～十一時三十分
- 閉館日 日曜日・祝日・学園の定める休業日
- お問い合わせ 成蹊学園史料館 〇四二二(三七)三九九四
http://www.seikei.ac.jp/gakuen/hm.html

二〇〇九年度の
就職状況について

二〇〇九年度は大学新卒者の有効求人倍率が一・六二倍と四年ぶりに減少に転じました。サブプライムローン問題に端を発した世界同時不況を背景に企業業績が軒並み悪化し、採用市場では、採用数を大幅に減少するなど厳選採用の姿勢が鮮明となっていました。

このような採用状況のなかでも本学は健闘し、就職希望者一六七二名(内工学研究科六二名)の十一月一日現在の内定率は、全国平均を上回る六七・〇%となっています。

内定状況を見てみますと、文系では今年度も金融業界への内定者の割合が、男女とも高くなっております。その一方で、男子では、三菱地所設計、国分、資生堂、凸版印刷、バンダイ、TBSテレビなど、業界を代表する企業にも数多く内定しています。女子では、大手メーカーへの総合職の内定も目立ち、資生堂、明治製菓、大日本印刷、丸紅などに内定しています。

また、理工学部・工学研究科の学生も、キャノン、東芝、日立製作所、本田技研工業、三菱電機などの大手メーカーをはじめ、三菱地所、武田薬品工業など数多くの優良企業に内定しており、堅実に実績を積み重ねています。

主な内定先企業は下表のとおりです。

(キャリア支援センター)

主な内定企業一覧 (2009年11月1日現在)

企業名	企業計 (内女子)	内訳			
		文系学部 (内女子)	理工学部 (大学院含む) (内女子)		
みずほ銀行	34 (28)	33 (27)	1 (1)		
東京海上日動火災保険	14 (13)	13 (12)	1 (1)		
みずほ信託銀行	13 (11)	13 (11)			
日本生命保険	11 (10)	11 (10)			
三井住友海上火災保険	10 (4)	10 (4)			
アメリカンファミリー生命保険	9 (5)	9 (5)			
三菱電機ビルテクノサービス	8 (1)	2 (1)	6		
JR東日本	8 (1)	3 (1)	5		
明治安田生命保険	8 (8)	8 (8)			
あいおい損害保険	7 (4)	5 (4)	2		
三菱UFJニコス	7 (6)	7 (6)			
三菱UFJ信託銀行	7 (6)	7 (6)			
多摩信用金庫	7 (2)	7 (2)			
第一生命情報システム	7 (5)	3 (3)	4 (2)		
中央三井信託銀行	7 (5)	7 (5)			
八千代銀行	6 (3)	6 (3)			
三井住友ファイナンス&リース	6 (5)	6 (5)			
日本興亜損害保険	6 (4)	5 (4)	1		
本田技研工業	6 (1)		6 (1)		
三菱東京UFJ銀行	5 (2)	4 (1)	1 (1)		
千葉銀行	5 (2)	5 (2)			
損害保険ジャパン	5 (5)	5 (5)			
損保ジャパン・システムソリューション	5 (2)	2 (1)	3 (1)		
国家公務員	5 (2)	3 (1)	2 (1)		
清水建設	5	1	4		
JCB	4 (3)	4 (3)			
りそな銀行	4 (1)	4 (1)			
三井住友銀行	4 (4)	4 (4)			
武蔵野銀行	4 (2)	4 (2)			
ニッセイ同和損害保険	4 (1)	4 (1)			
警視庁	4 (2)	3 (2)	1		
三井住友海上システムズ	4 (1)	1	3 (1)		
巢鴨信用金庫	4 (3)	4 (3)			
大同生命保険	4 (3)	4 (3)			
東京海上日動システムズ	4 (1)	1 (1)	3		
東銀リース	4 (2)	4 (2)			
郵船航空サービス	4 (1)	4 (1)			
かんぽ生命保険	3 (3)	3 (3)			
そごう・西武	3 (2)	3 (2)			
メタルワン	3 (2)	3 (2)			
ロッテ	3	3			
伊勢丹	3 (1)	2 (1)	1		
横浜銀行	3 (2)	3 (2)			
資生堂	3 (1)	3 (1)			
東急コミュニティー	3	3			

企業名	企業計 (内女子)	内訳		
		文系学部 (内女子)	理工学部 (大学院含む 内女子)	
東芝	3			3
日立ビルシステム	3	1		2
日立情報システムズ	3			3
日立製作所	3	1		2
野村総合研究所	3 (1)			3 (1)
和光	3 (1)	3 (1)		
ダイワボウ情報システム	3 (1)	2 (1)	1	
ニッセイ情報テクノロジー	3 (3)	2 (2)	1 (1)	
三井生命保険	3 (3)	3 (3)		
三菱UFJトラストシステム	3 (2)	2 (2)	1	
三菱電機	3	1		2
住商情報システム	3			3
住友信託銀行	3 (3)	3 (3)		
住友生命保険	3 (3)	3 (3)		
住友不動産販売	3 (3)	3 (3)		
新日本製鐵	3 (3)	2 (2)	1 (1)	
全日本空輸	3 (2)	3 (2)		
東京あおば農業協同組合	3 (3)	3 (3)		
NTT 東日本	3	1		2
東洋製罐	3 (1)	2 (1)	1	
日興コーディアル証券	3	3		
明治安田システム・テクノロジー	3 (2)	1		2 (2)
明治製菓	3 (1)	3 (1)		
郵便局	3 (3)	3 (3)		
MYJ	2 (2)	2 (2)		
イシダ	2	2		
エトワール海渡	2 (2)	2 (2)		
クレディセゾン	2 (1)	2 (1)		
ニコン	2	1		1
バンダイ	2	1		1
フジクラ	2 (1)	2 (1)		
メリーチョコレートカムパニー	2 (1)	2 (1)		
ゆうちょ銀行	2 (2)	2 (2)		
後藤回漕店	2 (2)	2 (2)		
三越	2	2		
常陽銀行	2 (1)	2 (1)		
静岡銀行	2 (1)	1 (1)	1	
損保ジャパン情報サービス	2 (2)	2 (2)		
東京都民銀行	2	2		
日本アクセス	2	1		1
日立物流	2	1		1
菱食	2	2		
JA三井リース	2	2		
JFE商事	2 (2)	2 (2)		
KDDI	2			2

企業名	企業計 (内女子)	内訳		
		文系学部 (内女子)	理工学部 (大学院含む 内女子)	
いすゞ自動車	2			2
NTT・データ・システム技術	2			2
キーウェアソリューションズ	2 (1)	1 (1)	1	
キャノン	2	1	1	
トラスコ中山	2 (1)	2 (1)		
ノバルティスファーマ	2 (1)	1 (1)	1	
ホーチキ	2 (1)	1 (1)	1	
マックス	2	2		
みずほ証券	2 (1)	1 (1)	1	
旭化成ホームズ	2 (2)	2 (2)		
花王カスターマーマーケティング	2 (1)	2 (1)		
岩谷産業	2 (1)	2 (1)		
共同印刷	2		2	
埼玉県信用保証協会	2 (1)	2 (1)		
三井不動産販売	2 (2)	2 (2)		
三星化学工業	2 (2)		2 (2)	
三菱商事マシナリ	2 (2)	2 (2)		
三菱電機住環境システムズ	2 (1)	2 (1)		
住友林業	2	2		
商工組合中央金庫	2 (2)	2 (2)		
城北信用金庫	2 (2)	2 (2)		
全国信用金庫厚生年金基金	2	2		
損保ジャパンひまわり生命保険	2 (1)	1 (1)	1	
大崎電気工業	2	2		
大日精化工業	2	2		
大日本印刷	2 (1)	1 (1)	1	
中央三井ビジネス	2 (2)	2 (2)		
JR東海	2		2	
東京海上日動あんしん生命保険	2 (2)	2 (2)		
東京電力	2		2	
東京特別区	2	2		
凸版印刷	2	1	1	
日本通運〔航空事業部〕	2 (1)	1 (1)	1	
日本電子計算	2 (1)	1 (1)	1	
日本電子計算機	2 (2)	2 (2)		
NHK	2 (1)	2 (1)		
日立ソフトウェアエンジニアリング	2 (1)		2 (1)	
能美防災	2		2	
富国生命保険	2 (1)	2 (1)		
武田薬品工業	2	1	1	
三菱地所	1		1	
TBS テレビ	1	1		
三菱地所設計	1	1		
丸紅	1 (1)	1 (1)		
国分	1	1		